

プログラム

10:00	オープニングスピーチ	日本アイ・ピー・エム株式会社 社長 大歳 卓麻
10:20	環境未来都市 北九州市 1.公害克服の歴史と環境国際協力 2.循環型社会づくりに向けた先駆けとしての環境産業への取り組み 3.北九州博覧祭を通じた環境未来都市づくりに向けた未来へのメッセージ、を講演いただきます。	北九州市 市長 末吉 興一 様
11:10	IBMの環境経営 地球環境、経済システム、社会システムに激動の予感がする21世紀。経済成長一辺倒の20世紀型経営から、潤いのある人々の生活や地球環境を考慮に入れた持続的発展を志向する「環境経営」が話題になっています。IBMの長年の環境対応や「ITと環境」など、具体的に経済や社会のシステムがどう変わって、いかにそれらを経営に活かしていくかをわかりやすく範例を挙げてお話いたします。	日本アイ・ピー・エム株式会社 副社長 丸山 力
12:00	昼食	
13:20	特別講演 ピッツバーグ市、都市再生 世界有数の鉄鋼の町として知られるピッツバーグ市は、長い間深刻な水質、大気、土壌汚染問題に直面してきたが、1940年代後半から事態は改善され始めました。講演はこれらの経過を歴史的なスライドで説明し、脱工業化と跡地の改善に取り組んできた道筋と、行政と民間の果たす役割、技術の果たした役割を検証する。	カーネギー・メロン大学 教授 Joel Tarr
14:30	インフォメーション・アクセシビリティ (情報バリアフリー社会の実現に向けて) インターネットに代表される情報技術がもたらす数々の利便性やメリットを享受「できる層」と「できない層」への分極化、いわゆるデジタル・ディバイドの問題に障害者の視点から焦点をあてる。情報格差を埋める支援技術の進歩と将来展望、およびこの分野におけるIBMの取り組みを語る。あわせて障害者を取り巻く環境、アクセシビリティにかかわる法規制の動き等を紹介し、情報アクセシビリティ実現のための課題を概説する。	日本アイ・ピー・エム株式会社 技術顧問、ゼネラルマネージャー ワールドワイド・アクセシビリティ 石田 清二
15:30	休憩	
15:45	パネル・ディスカッション	コーディネーター 九州ヒューマンメディア創造センター 理事長 合田 周平 様 パネリスト 北九州市 市長 末吉 興一 様 新日本製鐵株式会社八幡製鐵所 総務部長 川崎 順一 様 東陶機器株式会社 専務取締役 星加 和利 様 日本アイ・ピー・エム株式会社 顧問 山本 和夫 環境部長 小林 光男
17:20	まとめ、謝辞	日本アイ・ピー・エム株式会社 取締役 廣瀬 貞夫

